

大阪府大阪市都心部方言の待遇表現

鎗木 昌博

I. はじめに

- (1) 調査対象地：大阪府中央区内久宝寺町。同町は市内中心部の商業地域で、船場の東約1キロにある。
- (2) 調査年月日：1997年3月2日（日）
- (3) 話者：氏家由紀子 昭和3年1月27日生（69歳） 主婦
- (4) 調査者・調査場所：鎗木昌博、調査者宅
- (5) 調査方法：統一調査票による質問調査
- (6) 表記方法：アクセント表記は、声の上がり下がり、「^ˊ」で表す。なお文末の上昇イントネーションは省略する。
- (7) その他：N. Rは無回答

II. 調査結果

1. 尊敬表現

1-1 対者敬語

- (1) A お前は アン^ˊタ （「ア^ˊンタという場合もある。）
元気かね 「ゲ^ˊンキ
B あなたは N. R（目上の人には言わない）
元気かね オ^ˊ「ゲ^ˊンキデス カ
C あなたは N. R（目上の人には言わないが、強いて言うなら、オタクサン
「ワ）
元気かね オ^ˊ「ゲ^ˊンキデス カ
オカ^ˊ「ワ^ˊリ「ゴザイマセン カ
- (2) A あしたは家に居るか 「アシタ イ^ˊエ 「イテル
B あしたは家に居るか 「アシタ イ^ˊエ 「イテハル （イタハルとも）
C あしたは家に居られますか 「アシタワ^ˊ「オタクニ 「イテハリマス カ
- (3) A あした行くか 「アシタ イク
B あした行きますか 「アシタ イキハル
C あした行きますか 「アシタ イキハリマス カ
- (4) A 温泉に行かないか ①「オンセン イ^ˊケヘン /②「オンセン イコー
B 温泉に行かれませんか ①「オンセン イキマセン（イキマヘン） カ
②「オンセン イキマヒョ
C 温泉に行かれませんか 「オンセン イキマセン カ

- (5) A しますか 「シハリマス」ノン
 B されますか 「シハリマス」カ
- (6) A 見ましたか 「ミハッ」タ
 B 見ましたか 「ミハリマ」シタ カ
- (7) A 寝ましたか 「ネハッ」タ
 B 寝ましたか 「ネハリマ」シタ カ
- (8) A どこに行っているか 「ドコ イク」ノン
 B どこに行っていますか 「ドコ イキハリマス」ノン
 C どこに行っていますか 「ドチラ」エ 「イキハリマス」ノン
- (9) A どうぞ食べてくれ タベ「テ
 B どうぞ食べてください 「ドーゾ」 タベテ「クダ」サイ
 C どうぞ食べてください 「ドーゾ」 オメシアガリ「クダ」サイ
- (10) A 見せてくれないか ミセテン「カ
 B 見せてくださいますか ①ミセテ「クレハリマス
 ②ミセ「ト」クナハレ
 C 見せてくださいますか ミセテ「クレハ」ラシマセン (語気によってはき
 つく聞こえる)

1 - 2 第三者敬語

- (11) A 居るだろう ①「イテル」ヤロ /②「オ」ルヤロ
 B 居るだろう 「イテハル」ヤロ
 C おられるだろう 「イテハル」ヤロ
- (12) A 居なかった ①「オラ」ナンダ /②「イテ」へ「ン」カッタ
 B 居なかった 「イテハ」レへ「ン」カッタ
 C 居なかった 「イテハ」レへ「ン」カッタ
- (13) A そう言った 「ソナイ イーハリマシ」テン
 B そう言った 「ソナイ イーハリマシ」テン
- (14) A 行っていた 「イッテ」タ
 B 行っておられた 「イッテハッ」タ
 C 行っておられた 「イッテハッ」タ
- (15) A 来ている 「キテル
 B 来ている 「キテハリマス
 C 来ている 「キテハリマス
- (16) A 仕事をしている 「シゴト シテハル
 B 仕事をしている 「シゴト シテハル
- (17) A 見せてもらった ①ミセテ「モ」ロタ /②ミセテ「モ」ータ (ミシテと

いう言い方もある)

- B 見せてもらった ①ミセテ「モ」ロタ / ②ミセテ「モ」ータ
C 見せてもらった ①ミセテ「モ」ロタ / ②ミセテ「モ」ータ
- (18) A 見せてくれた ミセテ「ク」レタ
B 見せてくれた ミセテ「クレハッ」タ
C 見せてくれた ミセテ「クレハッ」タ
- (19) A くださった 「クレハリマ」シタ
B くださった 「クレハリマ」シタ
- (20) A いただいた ①「モ」ロタ / ②「イタダ」イタ
B いただいた ①「モ」ロタ / ②「イタダ」イタ

2. 謙譲表現

2-1 謙譲表現

- (21) A 私も ①ワタ「シ」モ / ②ワタシ「カ」テ
B 私も ①ワタ「シ」モ / ②ワタシ「カ」テ
C 私も ①ワタ「シ」モ / ②ワタシ「カ」テ
- (22) A 十分に食べました ジュー「ブ」ン 「イタダキマ」シタ
B 十分に食べました ジュー「ブ」ン 「イタダキマ」シタ
- (23) A 持ちましょう ①モチマ「ス」ワ / ②モチマ「ショ」
B 持ちましょう ①モチマ「ス」ワ / ②モチマ「ショ」
- (24) A 待たせたね ①オマタ「セ」 / ②オマチ「ド」ーサン (オマツ「ト」ーサン)
B お待たせしました オマタセ「シマ」シタ
C お待たせしました オマタセ「イタシマ」シタ
- (25) A 待ってるよ マツテ「ル」ワ
B 待っていますよ マツテマ「ス」ワ
C 待っていますよ オマチ「シテオリマス」
- (26) A 言ってくれ 「ユートイテ」
B 言ってくれ ①「ユートイテクダ」サイ / ②「ユートイテモラエマス」カ
C 言ってくれ ①「ユートイテクレハリマス」カ
②「ユートイテクレハ」ラシマセン「ヤロ」カ
- (27) A やろう 「アゲル」
B あげましょう サシアゲマ「ス」
C あげましょう サシアゲマ「ス」

ii-2 身内敬語

- (28) A 買ってやった 「コータッ」テン

- B 買ってやった 「コータリマシ」 テン
 C 買ってやった 「コータリマシ」 テン
 (29) A 主人はもう帰っている モー 「カエッテマス
 B 主人はもう帰っている モー 「カエッテマス

3. 丁寧表現

- (30) A 行くよ 「イク
 B 行きます 「イキマス
 (31) A 寒いね 「サ」ムイ 「ナ」ー
 B 寒いね 「サ」ムイデス 「ナ」ー
 C 寒いですね ①「サ」ムイデス 「ネ」ー / ②サムオマン 「ナ」ー
 (32) A 居るよ 「イテル
 B 居ます 「イテマス
 (33) A よかったねえ 「ヨ」カッタ 「ナ」ー
 B よかったですねえ ①「ヨ」カッタデス 「ナ」ー
 ②「ヨロシオ」マシタ 「ナ」ー
 C よかったですねえ ①「ヨ」カッタデス 「ネ」ー
 ②「ヨロシオ」マシタ 「ナ」ー
 (34) A そうか 「ソー」カ
 B そうですか 「ソー」デス カ (「ソー」デッ カ)
 C そうですか 「ソー」デゴザイマス カ (ほとんど言わない)

4. 人間関係に応じた待遇表現

4-1 特定表現の待遇表現

- (35) 「マ」ガッテが普通。商売人が得意先の人に言う場合なら「マ」ガッテモ「ロ」テと
 言うかもしれない。
 (36) トン「デ」モ「ゴ」ザイマセンは違和感なし。

4-2 多人数場面の待遇表現

- (37) ○「ホ」ナ 「ヤ」ラシテモライマス。
 (38) ○コ「ン」ドノ リョコ「ー」イキハル ヒ「ト」 「スク」ナイヨッテ 「ミ」ナ
 サン ゼ「ヒ」 サンカ「シ」テクダ「サイ」。

4-3 位相による待遇表現

	A 挨拶	B どこへ行くのか
1. お寺の住職さん	オハヨー「ゴザイマス	「ドチラ」エ
2. 校長先生	オハヨー「ゴザイマス	「ドチラ」エ
3. 見知らぬ年配の男性	(オハヨー「ゴザイマス)	(「ドチラ」エ)
4. 見知らぬ年配の女性	(オハヨー「ゴザイマス)	(「ドチラ」エ)
5. 顔見知りの年上の男性	オハ「ヨ」ーサンデス	「ド」イカリマス」ン
6. 顔見知りの年上の女性	オハ「ヨ」ーサンデス	「ド」イカリマス」ン
7. 10歳ほど年下の見知らぬ男性	(オハヨー「ゴザイマス)	(「ドチラ」エ)
8. 10歳ほど年下の見知らぬ女性	(オハヨー「ゴザイマス)	(「ドチラ」エ)
9. 同級生の男性	オハ「ヨ」ーサン	「ド」イカ」ン
10. 同級生の女性	オハ「ヨ」ーサン	「ド」イカ」ン
11. 10歳ほど年下の顔見知りの男性	オハ「ヨ」ーサン	「ド」イカ」ン
12. 10歳ほど年下の顔見知りの女性	オハ「ヨ」ーサン	「ド」イカ」ン
13. 近所の中学生の男の子	オハ「ヨ」ー	「ド」イカ」ン
14. 近所の中学生の女の子	オハ「ヨ」ー	「ド」イカ」ン

(見知らぬ人にこちらから声を掛けることはめったにない。Aは相手から挨拶された場合。Bは相手が道に迷っている場合などを想定したものである。)

Ⅲ. 総括(まとめ)

- ・尊敬を表す言い方は「～ハル」がもっとも標準的である。
- ・「ハル」に対する五段動詞の接続はイ段接続が優勢である。(「イカハル」ではなく「イキハル」が普通)
- ・より敬意をはらう場合の言い方としては、次のようなものがある。
 - ①丁寧語をつける(「～ハリマス」は頻出)
 - ②文末詞をネにする((33)Cなど)
 - ③遠回しな表現にする((26)Cなど)
- ・相手の性別による使い分けは明確には得られなかった。
- ・身内敬語はほとんど残っていないようである。

(かぶらぎまさひろ・大阪教育大学教育学部附属高等学校平野校舎)